

2023 保護者等からの児童発達支援自己評価表集計結果（公表）

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	改善策
環境体制・整備	1 子供の活動等にスペースが十分に確保されているか	19	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2	0	0	・子ども1人に1人ついて下さるので安心して任せられます。	・より専門性を高める事ができるように社内外研修等に取り組んでまいります。
	3 生活空間は本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	1	0	2		・さらに安心安全にご利用頂けるよう、環境・設備への配慮を努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子供達に合わせた空間になっているか	19	0	0	0		
適切な支援の提供	5 子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、※1児童発達支援計画が作成されているか	19	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている	18	1	0	0		・個別（マンツーマン）の運動療育に特化している為、「本人支援・家族支援」を中心に一人ひとりに合わせた支援内容を設定している。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	1	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	17	2	0	0	・毎回、遊具に趣向を凝らして下さっているため飽きずに取り組んでいると思います。	・継続性を保ちつつ、同じ種目に偏らないように様々な運動（動作）を取り入れていく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	3	3	2	11		・今のところ実施していないが、保護者のニーズに合わせて検討します。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1	0	0		契約時により丁寧に説明していく。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容との説明がなされたか	19	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（※2ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	3	1	6		・引き続き、それぞれに合った必要なアドバイスを行なうようにしていく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていくか	18	1	0	0		・運動の様子がわかるよう、言葉だけでなく、動画や写真も活用し、保護者の方に伝えていく。
	14 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1	0	0		・運動中や運動後、保護者の方と普段の様子や運動等についてコミュニケーションをはかっている。
	15 父母の会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	3	6	9		・今のところ実施していないが、保護者のニーズに合わせて検討します。
	16 子供や保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子供や保護者に周知・説明され相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	0	0	2		・引き続き、相談や申し入れは迅速に対応していく。 ・相談や申し入れに関しては日々のミーティングや随時、スタッフ間でも共有している。
	17 子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	0	0	0		・運動している間や運動終了後に普段の様子や運動の様子等を話している。各々の保護者ともLINEでもやりとりできるようにしている。
	18 定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信されているか	13	2	0	4		・SNSやHPを活用し、活動の様子やイベント予定などを毎週発信している。 ・現在も外部のスミダスクールと連携しているが、より多くのお子さんに参加して頂けるように企画していく。
19 個人情報の取り扱いに十分に注意されているか	18	1	0	0		・社内では鍵付きのラゲージで管理している。 ・外部とのやり取りの際は第三者に個人が特定されないように配慮している。	
非常時の対応	20 緊急時非常時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知、説明されているか。また発生を想定し訓練が実施されているか	10	2	0	7		・マニュアルを作成して、契約時により丁寧に説明していく。引き続き、全体に周知していく。
	21 非常火災の発生に備え、定期的に避難救出その他必要な訓練が行われているか	5	2	0	12		・マニュアルは作成して、契約時により丁寧に説明していく。引き続き、全体に周知していく。
満足度	22 子供は通所を楽しみにしているか	18	0	0	1		・運動をする事に興味や楽しさを持ってもらえるように継続して取り組んでいく。
	23 事業所の支援に満足しているか	19	0	0	0		

※1 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※2 「ペアレント・トレーニング」は保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方などを学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。